



「継続は力なり」



吉野川市立鴨島小学校
校長室だより 第30号
令和5年8月28日

学校教育目標：自他の生命と人権を尊重し、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し行動できる、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成

第2学期のスタート！ ～実りある充実した毎日に～

「ツクツクボウシ」の元気な鳴き声が聞こえてきました。厳しかった猛暑の夏が終わり、朝夕に、秋の気配が感じられる季節がやってきました。

さて、今日は第2学期の始業式。子どもたちの元気な姿と笑顔が学校中に溢れています。「実りの秋」に向けて、日々の学習の成果と子どもの成長を確かめながら、充実した毎日にしてまいりたいと考えています。

我々教職員も精一杯がんばりますので、これまで以上に本校教育への御理解と御支援を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。



「防災の日 (9/1) ・防災週間 (8/30～9/5)」 ～いざという時の備え～

地震や水害などの自然災害は、いつ私たちを襲ってくるか分かりません。もしかすると早朝や深夜、日曜日などの休日かも知れません。

学校では子どもたちの命を守るため、地震や水害、火災及び不審者対応などを想定した避難訓練や防災訓練などの安全教育に取り組んでいます。9月1日(金)には「防災の日」を踏まえて、地震を想定した避難訓練を実施します。また、6年生は2月の防災教育発表会に向けて今後学習を進めていきます。子供たちが学校に滞在している時間帯に自然災害等が発生した場合は、教職員が全力で子どもたちの安全を確保し、命を守ります。

では、子どもたちは1年の中でどれくらいの時間を学校で過ごしているのでしょうか。



登校から下校まで、子どもたちは1日約7時間(低学年を想定)を学校で過ごしています。また、年間の授業日数は200日前後ですので、子どもたちが1年間で学校に滞在する時間の合計は、約1,400時間(1日7時間×年間200日)となります。この1年間に学校に滞在する時間が、1年間8,760時間(24時間×365日)に占める割合は、約16%(1年間の滞在時間1,400時間÷1年間の時間8,760時間)となります。

実は、1年間の中で僅か16%の時間しか子どもたちは学校にいません。逆に、84%もの大半の時間を子どもたちは学校以外の場所で過ごしているのです。つまり、子どもたちが学校にいる時よりも、学校以外の場所にいる時に被災する可能性が圧倒的に高いと言えるのかも知れません。

学校以外の地域や家庭で過ごす84%の多くの時間で、子どもたちはいかに自分の命を守る行動ができるのか。学校においても、こうしたことを念頭に防災教育を行ってまいりますが、「防災の日」を機会に、親子(家族)でもう一度、いざという時の備えについて話し合ってみることが必要かも知れませんね。



☆運動会の開催について(お知らせ) 実施日10月7日(土) ☆

今年度の運動会を10月7日(土)に実施する予定です。予備日は、10月14日(土)です。今年度も午前中の開催(お弁当なし)とします。運動会の名称も子どもたちと考え日程、種目及び参加人数等々、詳細は後日連絡いたしますので、ご予定ください。

「校長室・学年」だよりは、HPではカラーで見ることができます→



鴨小QRコード